

2025

4

April  
No. 386

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



## 未来へ羽ばたけ三島中生!! 三島中学校卒業式

3月13日に三島中学校卒業式が行われ、7名の卒業生が門出を迎えました。たくさんの思い出が残る学び舎をあとに、高校生としての新たなスタートを切ります。これまでの三島町での学びに自信と誇りを持ち「なりたい自分」に向かって継続的にチャレンジしてください。ご卒業おめでとうございます。

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



第44回

三島町主催  
三島町生活工芸品展

第44回三島町生活工芸品展では、44名の町民の皆さまより342点の編み組細工や木工品などの出品があり、2月27日に行われた審査会で、30点の受賞作品が下表のとおり決まりました。

342点の作品の中から栗田政行さん（川井）の「マタタビ米研ぎ箆大」が「マタタビ米研ぎ箆大」が大賞を受賞しました。

3月14日、表彰式と町民限定の内覧会が生活工芸館で行われ、多くの町民の方が来場しました。

▲大賞を受賞した栗田政行さん（川井）と「マタタビ米研ぎ箆大」

賞	作品名	材質	作者名	地区
大賞	マタタビ米研ぎ箆大	マタタビ	栗田政行	川井
伝統技術者賞	ショルダーバッグ	ヒロロ他	渡部マサ	西方
	手提げバッグ	ヒロロ他	五十嵐朝子	大石田
	山ブドウ買い物かご	山ブドウ	小堀千加子	西方
優秀賞	ヒロロスカリ	ヒロロ	永澤光枝	浅岐
	小抽斗	ク	志田明恵	宮下
奨励賞	山ブドウかご	山ブドウ	二瓶辰雄	西方
	クルミレディースバッグ	クルミ他	五十嵐富一	大谷
奨励賞	マタタビ手提げ	マタタビ	渡部佐治郎	西方
	壁掛け	木綿古布	渡部和	大石田
三島町議会議長賞	山ぶどう長サイフ	山ブドウ	五十嵐陽二	名入
日本赤十字社福島県支部長賞	米とぎザル	マタタビ	大橋治	浅岐
福島県老人クラブ連合会長賞	藁帽子	ワ	舟木トメ子	間方
三島町文化協会賞	巾着	ヒロロ	安藤香奈子	滝谷
三島町商工会賞	山ぶどう花ストラップ	山ブドウ	二瓶トヨ子	西方
三島町観光協会賞	ザル	マタタビ	渡部繁信	大石田
三島町社会福祉協議会長賞	山ブドウ長財布	山ブドウ	三井康二	荒屋敷
三島町老人クラブ連合会長賞	手さげバッグ	ヒロロ他	渡部ユキ子	荒屋敷
福島民報社賞	米研ぎ箆	マタタビ	新井里咲	宮下
福島民友新聞社賞	変わりあみ中かばん	アケビ	栗城ゆみ子	宮下
道の駅尾瀬街道みしま宿賞	山ブドウショルダー	山ブドウ	三澤龍太	西方
三島町生活工芸運動友の会会長賞	パン箆	マタタビ	市東玲美奈	宮下
	山ブドウカゴ	山ブドウ	佐藤律子	早戸
宮崎清賞	雪踏み俵	ワ	舟木トメ子	間方
	手提げバッグ	ヒロロ他	渡部マサ	西方
	ショルダーバッグ	ヒロロ他	渡部ユキ子	荒屋敷
	鍋敷	ヒロロ	永澤光枝	浅岐
	手提げ	山ブドウ	五十嵐喜良	名入
宮崎清賞（特別賞）	卓上布	古木綿	渡部和	大石田
宮崎清賞（特別賞）	クルミポシェット	クルミ	三島小学校アートクラブ	宮下

第24回

奥会津三島編組品振興協議会主催  
全国編み組工芸品展



▲経済産業大臣賞を受賞した中川原信一さん（秋田）と丸かご（特大）

第24回全国編み組工芸品展が開催され、全国の108名の皆さまから809点の出品があり、17点の受賞作品が下表のとおり決まりました。

3月15日に表彰式が行われ、三島町からは、板橋泰二郎さん（滝原）が福島県知事賞、青木基重さん（西方）が奨励賞を受賞しました。

賞	作品名	材質	作者名	県名
経済産業大臣賞	丸かご（特大）	アケビ	中川原信一	秋田県
林野庁長官賞	バッグ	ヒロロ他	斎藤才子	福島県
東北経済産業局長賞	米研ぎザル	マタタビ他	渡部博之	福島県
福島県知事賞	ショルダーバッグA4	山ブドウ	板橋泰二郎	福島県
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	手提げバッグ（斜め模様）	シナ・シュロ	竹山美智子	埼玉県
三島町長賞	踏み俵	ワ	佐藤二郎	福島県
三島町議会議長賞	山葡萄籠	山ブドウ	横山繁則	岩手県
福島民報社賞	鉄線編み手提げカゴ	山ブドウ	藤井礼子	茨城県
福島民友新聞社賞	桜深かご（特大）	鈴竹他	和賀恵治	宮城県
福島テレビ賞	クルミ手提げ籠	オニグルミ	三善陽子	新潟県
福島中央テレビ賞	背負子	寒スゲ	下田秀雄	群馬県
福島放送賞	背負い籠	山ブドウ	奥原千年	東京都
テレビユー福島賞	手提げバッグ	ヒロロ・山ブドウ	大山達朗	福島県
奥会津三島編組品振興協議会長賞	米研ぎザル（3合）	マタタビ	若林豊昇	福島県
奨励賞	りんご籠／藁籠	藁・りんご剪定木	鈴木由加利	長野県
	網代編み・三ツ編み手提げ	山ブドウ	大原陽子	福島県
	山ブドウカゴ	山ブドウ	青木基重	福島県



五十嵐喜良さんによる山ぶどうの細工実演



渡部ユキ子さんによるヒロロ細工の実演

両会場の様子



全国展会場の様子



生活工芸アカデミー生の作品展示

展示販売では、約1500名のお客様が来場され、交流センター山びこには長蛇の列が出来ていました。生活工芸館内では、町内の工人さんによる実演コーナーが設けられ、多くの方が足を止め、巧みな手技に見入っていました。また、生活工芸アカデミー生の作品も展示され、訪れたお客さまとの交流が行われました。

## 『百歳賀寿贈呈式！』角田ケイ子さんと角田榮子さん



▲お祝い状を手にする角田ケイ子さん



▲お祝い状を手にする角田榮子さん

角田ケイ子さん(宮下)と角田榮子さん(大登)の百歳賀寿贈呈式が行われました。ケイ子さんは2月27日、榮子さんは2月28日に誕生日を迎えられ、矢澤町長からお祝い状と記念品が贈呈されました。ケイ子さんの長寿の秘訣は「3食きちんと食べること」、榮子さんは「畑仕事で体を動かしてきたこと」と、ご家族が話されていました。お二人のますますのご長寿をお祈りいたします。

## 「空気の乾燥による火災にご注意！」 火災予防街頭広報を実施

3月1日から3月7日まで「全国春季火災予防運動」が実施されました。空気が乾燥し火災の発生しやすい時季であることから、三島町役場の来庁者に対して、三島町消防団の五十嵐健二団長、会津坂下消防署三島出張所の猪俣雄司出張所長がパンフレット等を配布し、火災予防街頭広報を実施しました。各地で火災が多く発生していることから、火の元に十分注意し、火災のないよう過ごしましょう。



▲街頭広報の様子



▲左から総務課小川主査、五十嵐団長、会津坂下消防署三島出張所 猪俣雄司所長

## 春よ来い！冬のマルシェと花火大会

3月15日に観光交流館からんころん脇のイベント広場において、「春よ来い！冬のマルシェと花火大会」が開催されました。

午後3時に開始されたマルシェ「からんころん横丁」では、町内事業者のキッチンMORy、SampSon、ハシノハシの出店や、雪と火のまつりに協賛いただいた酒造会社からの日本酒のお振舞い、豪華景品があたる抽選会などが実施され、来場された皆様はお酒やグルメ、お買い物を楽しんでいました。

午後6時15分からは大登地区中川井から花火が打ち上げられ、暖かい春の訪れを心待ちにしながら、鮮やかに彩られた三島町の夜空を眺めていました。

このイベントは、大雪の影響により中止となった「第52回雪と火のまつり」の代替イベントとして、今冬は日々除雪に追われていた町民の皆様のご活力となることや、地域活性化を目的に開催されました。



▲会場の様子



▲打ち上げられた花火



## 三島中学校卒業式 (3月13日)

令和6年度 三島中学校卒業生 (7名)

おおたけ かおるこ 大竹 薫子 (滝谷)	くりき かほ 栗城 花穂 (中平)
さいとう しょうこ 齋藤 翔子 (宮下)	すずき よしたか 鈴木 康生 (宮下)
にへい はる 二瓶 晴 (間方)	はた せいすけ 秦 聖之助 (宮下)
めぐろ はな 目黒 はな (滝谷)	



## 三島小学校卒業式 (3月21日)

令和6年度 三島小学校卒業生 (2名)

いがらし ゆづき 五十嵐 悠月 (宮下)	ぬのかわ るい 布川 琉生 (宮下)
-------------------------	-----------------------



## 三島保育所満了式 (3月26日)

令和6年度 満了児 (2名)

やざわ さゆき 矢澤 紗雪 (高清水)	いわぶち そうた 岩渕 聡太 (大登)
------------------------	------------------------



高清水地区の「ひな流し」(3月4日)

菅家 敏一さん(高清水)

3月4日桃の節句に女の子の健やかな成長を祈願し、各家庭を回って集めた化粧紙などで作られたお手製のひな人形を川に流す「ひな流し」が行われました。

この行事は元々各家庭で行われていたようですが、昭和60年に「地区プライド運動」として町の認定を受け代々継承されてきた行事です。

今回は豪雪で除雪が大変な中、時間を見つけてはコツコツと作られた「ひな人形」は、地区の方々と三島小の1・2年生が作ってくれた分と合せて80体余りが集まりました。箱に入れられ揺られながらゆっくり流れゆく「ひな人形」を皆で見守りました。これからもこの行事が続きますように。



春を呼び込む団子まき(3月20日)

本名 与四郎さん(西方)

3月20日の春分の日午前11時より西隆寺本堂において、春恒例の「団子まき」が昨年に引き続き行われました。団子まきが始まる前に遠藤孝弘住職から団子まきの由来について分かりやすい説明がありました。本堂には、地元の子どもたちやお年寄りだけでなく、町内外から約80名以上の方々が今か今かと集まって熱気に溢れていました。

団子まきは、遠藤住職や護持会の役員が信徒や住民に5色の団子のほかに鈴のお守りをまいて、無病息災、交通安全などを祈願しました。

また、3月18日には(団子まるめのために、)地区の婦人会を中心にお寺の庫裏に集まり、托鉢が大雪のために中止となったものの、前回までに托鉢で集めたお米を新しいものに変えて、手際よく5色の色粉と練り合わせながら、たくさんの団子を丸めたと言うことでした。地域に残る稀少な行事の一つであり、守り続けていってほしいと願うばかりです。

「春よ来い 幸せもろう 団子まき」  
「西方に こんなにいたか 子どもたち」



住民の住民による住民のための地区総会(3月23日)

本名 与四郎さん(西方)

3月23日の午前10時より西方ふるさとセンターにおいて、「西方地区総会」が行われました。はじめに、区長の五ノ井隆一さんが近年にない豪雪となり、地区においても除雪部隊を編成し取り組んだこと、今後も除雪対策を強化することや、カタクリ群生地の整備などの各種行事に隣組長を中心に協力していただいた地区民への感謝の言葉を述べました。また、今年度は地区役員と隣組長の交代となるものの、西方地区においても人口減少と高齢化による人手不足のため役員改選が容易でないことの実情も挨拶の中にありました。

本題である協議事項は事業報告(計画)、一般・特別会計収支決算(予算案)、など多岐にわたって慎重審議がなされました。それぞれの協議事項について、地区住民から建設的で忌憚のない要望や質問が多数出され、充実した実りのある地区総会となりました。

「住民が 知恵を出し合う 地区総会」  
「できるなら 区費を出してよ 熊家族」



安全・安心なまちづくりを  
無火災から1年 町に無火災表彰を報告

会津坂下消防署三島出張所が令和7年3月14日に1年間、管轄区域内において無火災を記録したことから、会津若松地方広域市町村圏整備組合より表彰を受けました。

3月17日に会津坂下消防署長細堀高正氏、三島出張所長猪俣雄司氏が町長室に訪れ矢澤町長、五十嵐団長へ報告しました。

町内各地区消防班による月に1回の消防設備点検や、三島町消防団による年2回の消防検閲等の日々の積み重ねが防火意識の高揚に繋がり、今回の表彰となりました。



▲左から五十嵐団長、矢澤町長、会津坂下消防署三島出張所の猪俣雄司所長、会津坂下消防所署細堀高正署長

大竹克昌さんが消防庁長官表彰を受章

三島町消防団副団長の大竹克昌さん(滝谷)は消防活動の功績が認められ消防庁長官表彰を受章しました。伝達式は3月17日、福島県会津若松合同庁舎で行われ、大竹さんに永年勤続功労章が伝達され同日、町長室において矢澤町長に報告しました。

大竹さんは平成2年に町消防団に入団し35年間、町の消防活動に尽力しています。



▲左から矢澤町長、大竹克昌副団長

令和7年度宮下地区総会(3月22日)

小島 純さん(宮下)

宮下地区(志田義美区長)の令和7年度地区総会が、宮下活性化センターにおいて午後3時から開催されました。

志田区長の挨拶の後、ご来賓の五十嵐健二氏からのご祝辞がありました。議長に田上氏が選出され議事に入り、第1号議案から第5号議案が上程され令和6年度の事業報告及び歳入歳出決算、令和7年度の歳入歳出予算(案)などが審議され了承されました。

次は令和7年度新区長に区長選考委員会において近藤勇彦氏が選出されたことを報告し、総会の席で承認されました。

また、地区監事の選出について細堀信子氏が承認され、志田区長より令和7年度の町への地区要望が説明されました。その後、新旧区長の挨拶があり総会は終了しました。



# 投資的事業費を大幅縮減、緊縮財政を継続

町の令和7年度の一般会計と4つの特別会計、2つの公営企業会計の予算が議会3月定例会で議決されました。

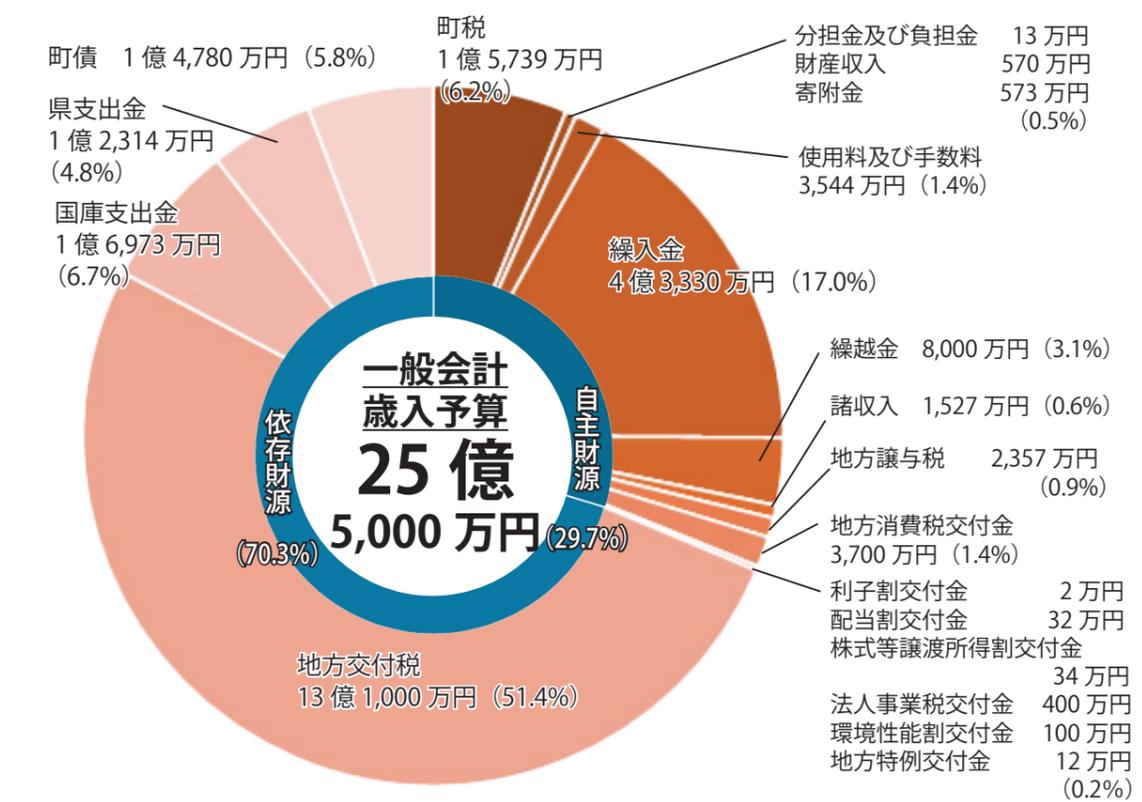
一般会計予算の総額は25億5千万円となり、昨年度から1億3千100万円の減となり、今年度も緊縮財政を継続しています。

依存財源が歳入の大半を占める中、基金も減少しており、予算のさらなる削減が必要です。しかしながら、町民のみなさんの生活を守るため、社会インフラの維持に不可欠な予算は、優先して確保しなければなりません。

同時に、『三島町』として誇りを持ち、未来に希望を持てる、魅力ある町をつくるための予算も必要です。

町では今後も、最小の予算で最大の効果を発揮させるように取り組みます。

## 歳入



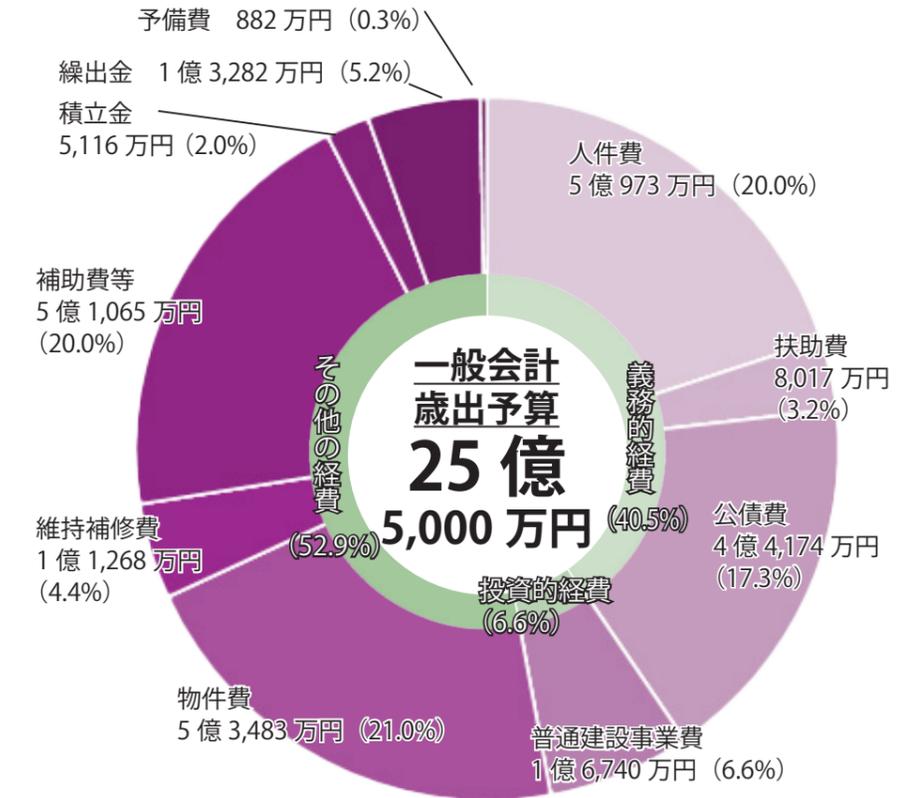
地方交付税は13億1千万円を計上し、これは歳入の51・4%を占めています。国庫支出金は、昨年度と比較し、7千333万円（76・1%増）増加しています。これは自治体情報システムの標準化（※歳出で詳細を説明）のための「デジタル基盤改革支援補助金」4千668万円、町道整備や住宅改修のための社会資本整備総合交付金6千237万円、戸籍システム改修等のための社会保障・税番号制度システム整備補助金6千164万円などを計上したことが要因です。また、地方譲与税は森林環境譲与税の増により昨年度と比較し、217万円の増（10・1%増）となりました。町債には町道寺沢四ツ田線整備などに充てる過疎対策事業債9千800万円、西方ため池改修、林道舗装に充てる緊急自然災害防止対策事業債3千900万円などを計上しました。

## 町の財政状況（令和5年度決算）

令和5年度地方財政状況調査（決算統計）では、地方交付税が歳入の47.1%を占め、財政力指数は0.13であり、国の財政措置に大きく依存しています。経常収支比率は2.6ポイントの増で99.3%となりました。財政調整基金2億4262万円を繰り入れ、今後も基金を取り崩さなければ財政運営ができない状況が見込まれます。また各種建設事業に伴う起債の増加により、実質公債費比率が上昇傾向にあり、3.9ポイント増の12.7%（単年度17.6%）となりました。今後も上昇し、令和7年度以降17%以上で数年推移すると推計しており、財政圧迫は避けられない状況です。

### 用語の説明

- 一般会計と特別会計**  
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- 町税**  
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- 町債**  
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- 地方交付税**  
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- 国庫支出金・県支出金**  
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- 人件費**  
報酬や給与などです。
- 物件費**  
委託料、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- 維持補修費**  
道路や公共施設などを維持管理するための経費です。
- 扶助費**  
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- 補助費等**  
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- 普通建設事業費**  
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- 公債費**  
町の借金（町債）を返済するためのお金です。
- 積立金**  
財政運営や特定の目的のために積み立てるお金です。
- 繰出金**  
一般会計から特別会計に出しているお金です。



## 歳出

物件費が5億3千483万円で、昨年度より7千783万円増えています。（17%増）これは主に『自治体情報システムの標準化』に対応するため、標準準拠システム移行・保守3千621万円、戸籍システム標準化改修899万円、健康管理システム改修1千56万円を計上したことによるものです。『自治体情報システムの標準化』とは、国が定めた「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、全国の市町村が対応しなければなりません。町の情報システムを、統一的な基準に適合させることで、経費を削減し、さらに住民の利便性を向上させることが目的です。また、名入・大石田スノーシェッド調査設計880万円、温泉熱利用事業実施設計600万円、そして、今年度策定を予定している第5次振興計画後期計画の策定支援920万円などを計上しています。普通建設事業費には県立宮下病院建設に伴う町道整備9千900万円、西方ため池改修3千400万円、中平団地住戸改修2千620万円を計上しました。これは令和6年度と比較して1億3千888万円の減（45・3%減）となり、令和7年度は普通建設事業費を大幅に縮減しました。

## 主な投資的事業 令和7年度 会計別予算額

事業名	会計種別	予算額	前年度からの増減
町道寺沢四ツ田線整備	一般会計	25億5,000万円	△1億3,100万円
西方ため池改修	特別会計	1億8,225万円	△153万円
中平団地住戸改修		3,650万円	△210万円
名入・大石田スノーシェッド調査設計		4億2,425万円	△1,006万円
稲刈り用コンバイン		4,054万円	△156万円
温泉熱利用事業実施設計			
林道舗装			

## 「キエーロモニターからの報告」 21名のモニター方に実際に使っていただきました

昨年の夏から秋にかけて、21名の方にキエーロ用の土と容器を提供しました。キエーロに入れた食品を記録してもらい、実際に利用した感想をレポートとして提出してもらいました。

### 実際に入れたもの

分解しやすい	分解しにくい	分解しない
細かい野菜くず	魚の切り身	草花の茎
ご飯	揚げ物の衣	卵のカラ
みそ汁の残り	茶がら	ブドウの皮
ラーメンの残り	ダシがら	桃の種
シーチキン	煮物	太い骨
	果物の実	
	バナナの皮	
	野菜類の皮	
	柑橘系の皮	
	キャベツの芯	

### 感想



住宅地に住んでいる人には便利。  
畑に置くコンポストがある家は、そちらでもよいと思った。  
キエーロを使ってゴミの量が減った。  
水分が適量に調整するのが難しい。



細かな野菜くずや腐らせたものはよく分解できた。  
少量の汁や油物を手軽に処理できてよい。  
町全体で利用が進めば、ごみ減量につながると思った。  
実際に出すごみの量が減った。

### キエーロモニター募集と生ごみ減量補助のご案内

#### ①キエーロのモニターを募集します！

【募集人数】 30人程度

キエーロを実際に使ってみて、入れた食品や感想などをレポートにまとめていただきます。使用する資材は町で用意しますので気軽に試すことができます。（自作でも可能です）試用期間の後は返却不要ですので、そのまま利用いただけます。

詳しい募集内容については後日お知らせ版などに掲載します。

#### ②キエーロの資材購入やコンポスト購入の費用を補助します。

【募集人数】 10人程度

キエーロ自作の木板やコンポスト購入のための費用を助成します。かかった費用の半分を補助し、上限は5,000円です。キエーロ自作に挑戦したい方、コンポストの買い替えや新規購入を考えている方はぜひご利用ください。

町民課 町民係 ☎ (48) 5555

## 「生ごみ削減チャレンジ !!」 ～キエーロで生ごみをなくそう～

「生ごみ」は生活系可燃ごみの内、最も大きな割合を占めています。三島町では、燃えるゴミ減量のため、生ごみの削減に取り組んでいます。今回は、令和6年度に試験的に実施した「キエーロ」を使った取り組みを紹介します。

### キエーロを知っていますか？

**キエーロとは** 土中の微生物の力を利用し、生ごみを分解し、土に戻す仕組みです。

土と容器があれば、「キエーロ」を始めることができます。  
生ごみが減って、ごみ出しの量が少なくなります！



### メリット

#### 簡単に始められる

微生物の力で分解するため、特別な器具などは必要ありません。

#### 手間がかからない

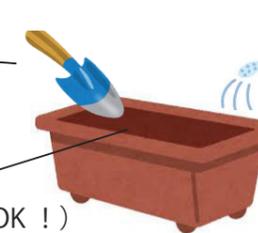
容器に入れた土に、生ごみを埋めて放置するだけ。

#### 臭いが発生しにくい

気になる臭いや虫が発生しにくい。

### 必要なもの

シャベル



じょうろ

黒土  
(畑の土でもOK!)

容器 (プランターなど)  
どんな容器でもOK!

### 使い方

①穴を20cm程度掘る

②生ごみを穴に埋める

③放置するだけで生ごみが消える



# 令和6年度 三島町地域おこし協力隊活動報告



すずき りょう  
**鈴木 亮** (44)

【配属先】産業建設課

【業務】鳥獣対策専門員（有害鳥獣の捕獲・鳥獣出没現場の確認や調査・鳥獣が人里に寄りつかない環境づくり）



にしだ せいや  
**西田 星弥** (28)

【配属先】産業建設課（業務委託型）

【業務】①新規ECサイト構築に関する方向性の制作や進行管理  
②ECサイト運営体制の構築

## 活動内容

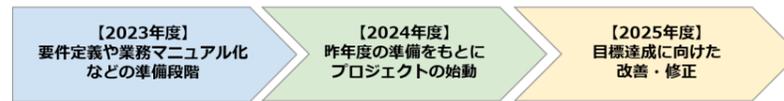
地域おこし協力隊の西田です。令和6年度地域おこし協力隊活動誌の総括となります。

令和6年度では、活動誌にて定期的にお知らせしていたECサイトに関する業務を主に担当していました。本件に関しては任期1年目から様々な障壁にぶつかってきていきましたが、3年目となる令和6年度では、ECサイトとして形を整えた状態でオープンすることができました。正直なところ課題は山積しており、理



完成したECサイト

想どおりには歩めていないというのが実情です。ただし、容易ではないことは想定内で、方向性やサイトの存在意義を再定義することで、継続する意味のある内容であると考えています。残りの任期も3か月となり、大きな動きを見せることは難しい状況ですが、今後は私の所属である産業建設課と地域政策課との連携や、イベントを絡めた活動をより強固にすることを大切にしたいと思います。



## 活動内容

鳥獣対策専門員の鈴木です。早いもので地域おこし協力隊としての任期も残り半分となりました。今回は令和6年度の活動内容について報告します。

### ①活動内容

- ・主に鳥獣からの被害を防ぐ活動を実施
- ・有害鳥獣の出没情報の収集
- ・有害鳥獣が人里に来ないための環境づくり
- ・有害鳥獣の捕獲

### ②令和6年度の活動内容

- ・前年度はクマの出没が多い年でしたが、今年度はクマの他にもイノシシ、サル、シカも多く出没したので、これら全ての鳥獣へ対応することになりました。
- ・出没現場の確認
- ・放任果樹の伐採などによる環境整備
- ・現場の確認の結果、人に危害が及ぶおそれが高いと判断した場合は、罠を設置しての捕獲を実施
- ・サルが出没する時間、場所での見回り、サルを見つけた場合の追い払い
- ・被害防止のための広報など

## 三島町での生活

仕事以外でも狩猟に勤しみました。前年度の猟果はゼロでしたが、今年度は先輩方の力を借りて、どうかイノシシとシカを獲ることができました。

ほかには、町の方から分けられた野菜で趣味の料理を楽しみました。野菜を分けてくださった方この場をお借りして御礼申し上げます。



▲いただいた野菜で作った料理



▲イノシシの捕獲

## 次年度の課題

簡単ではありませんが、令和6年度の地域おこし協力隊活動誌を以上とさせていただきます。任期終了まで引き続きよろしく願います。

### 継続が見込めるような集客

- ・制作時以外に日常的な集客や販促といった継続的な売り上げ構築に充てるコストも基本的にはゼロ
- ・それに伴い、ある程度の規模感でのSEO対策や広告等による集客、売り上げを作ることが困難
- ・現状はECサイトに備え付けられている無料の機能で集客を目指している

### 極限までのコストカット

- ・環境や制作にあたる条件の変化、修正によって制作時～運用におけるコスト削減が必要となり、期待されていた運用形態よりも大幅な縮小が必要となった
- ・残り任期が少ない事も相まって、任期後・引継ぎ後の負担の少なさに重きを置いた方針

※ ECサイト（イーシーサイト）とは、商品やサービスをインターネット上に置いた独自運営のウェブサイト販売するサイトのこと。Electric Commerce（電子取引）の略。

※ SEO（サーチ・エンジン・最適化）とは、自社サイトのホームページなどを検索エンジンで上位に表示させるために行う対策

## 次年度の活動予定

1年半の活動の中で、町から鳥獣被害をなくすには行政と専門員だけでなく、町の方の力も不可欠だということが分りました。今年はサルの追い払い方の講習会などを行って、一緒に鳥獣対策をしてくれる仲間を集めていきたいと思っています。

その他、放任果樹の伐採などでの環境整備、有害鳥獣の捕獲や動向の調査も併せて行っていききたいと思



▲カメラに気づいたサル

ご利用ください！生活工芸館 - 生活工芸館の設備について -

生活工芸館では、町民の皆さんのものづくりをお手伝い出来るよう、以下の設備を備えています。ご予約の上、ご来館ください。



【木工室】

お箸のような小物から棚などの大きなものまで、製作可能なプロ仕様の機械が揃っています。利用料金は機械使用の時間に応じて、町民は半日（3時間以内）300円、1日500円です。組み立てなど機械を使わない場合は、料金がかかりませんので、作業場としてもお使いいただけます。



【陶芸室】

陶芸窯、ろくろ（手回し、電動）、土練機、その他土を削る為のヘラ等の道具を置いており、成形から本焼きまでの一連の作業ができます。1日300円で機械類をご利用いただけます。なお、電動の機械の利用が無ければ、料金はかかりません。



【工人の館】

制作活動を行える施設です。工芸制作活動に利用する目的として部屋や備え付けの道具を貸し出しします。町民または特別町民の方が利用できます。

利用料は無料です。開館日時は、生活工芸館と同様です。

内容	料金	設備等
木工室 機械利用料	【町民または特別町民】 ●半日（3時間以内）300円 ●1日500円 【町外】 ●半日（3時間以内）600円 ●1日1000円	インパクトドライバー、ジグソー、横切り盤、手押し鉋盤、自動鉋盤、昇降盤、超仕上げ鉋、糸鋸、角ノミ等
陶芸室 陶芸機器利用料（ガス代別途）	【町民または特別町民】 ●1日300円 【町外】 ●1日600円	手回しろくろ、電動ろくろ、土練機、陶芸ガス窯（小）、陶芸ガス窯（大）、各種ヘラ等
陶土	1kg 200円	
ガス代	1㎡当たり 944円	陶芸ガス窯（小）において 素焼き：2㎡ 本焼き：5㎡程度必要
工人の館 各部屋	無料 （指導にあたっては 料金が発生する場合があります）	シンク（長い材がつけられる）、ミシン、アイロン、なめしローラー、エアコン、Wi-Fi

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより ④7 ものづくりの伝承

令和7年度の総合健診（特定健診・がん検診）  
の実施のお知らせ！

vol.101

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

【実施予定日】 6月20日（金）・22日（日）・23日（月）

三島町の総合健診では以下の健診が受けられます

- ★特定健診（40歳から74歳の方）
- ★後期高齢者健診（75歳以上の方）
- ★若年健診（18歳から39歳の方）
- ★がん検診（肺・胃・大腸・前立腺）



Q 健診って何？どんなことをするの？

A 特定・後期・若年健診では、生活習慣病の予防のため、各健診の対象者の方にメタボリックシンドロームに着目した検査（身体測定、血圧測定、血液検査、心電図など）を行います。

Q 健診ってどうやって受ければいいのか？

A 年齢や加入している健康保険によって受診の仕方が異なります。

- 特定健診対象者：40歳以上74歳までの方
  - 国民健康保険加入者は健診票を送付しますので、指定された日程または都合の良い日程で受診してください。
  - 社会保険加入者は加入している保険団体から案内が届きますので、町の総合健診で受診する際は説明をよく読んで受診してください。町への申し込みは不要です。
- 後期高齢者健診：健診実施当日に75歳以上であればどなたでも受診できます。町が実施する意向調査で申し込んでください。
- 若年健診対象者：健康保険の種類に関係なく、健診を受診する機会がない方は受診できます。町が実施する意向調査で申し込んでください。
- がん検診：対象の方は町が実施する意向調査で申し込んでください。

Q 定期的に通院しているから受けなくても大丈夫？

A 町の健診では、心電図や腎機能検査（eGFR）、尿中塩分摂取量（1日に摂っている塩分の推定量）など、定期受診ではあまり知ることのできない部分も検査項目として取り入れています。定期受診している方もぜひ受診してください。

健康への第一歩！

年に1回は健診を受け、自分の体と向き合ってみましょう。



図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間  
月～金 午前9時～午後9時  
土（日）祝 午前9時～午後5時
- お休み  
年末年始
- ☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

樹木希林 120の遺言

樹木 希林 著



「楽しむのではなくて、面白がることよ。面白がらなきゃ、やっていけないもの、この世の中」  
本書は樹木さんが生前に遺した120の言葉を掲載しています。老い、孤独、病い、仕事、家族、夫婦関係……誰もが人生で直面する「壁」をどう乗り越えればいいのか――。  
きっと樹木さんの言葉がヒントになるはずですよ。

●図書の紹介



C線上のアリア

奏 かなえ 著



日本の美しい水族館

銀鏡 つかさ 著



はじめての国宝

小学館 著



# 国環研だより 第80回 福島は今までと未来に向けた取り組み

三島町のみなさま、こんにちは。2011年の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故から今年で14年が経ちました。環境省のウェブサイトでは「福島、その先の環境へ。」と題して、事故発生から行ってきた取り組みやこれからの環境に向けての取り組みを紹介した特設ページが公開されています。今回はその「福島、その先の環境へ。」の一部をご紹介します。

## ■福島を再生する

福島第一原子力発電所の事故によって、放射性物質による環境汚染が発生、多くの人の健康や生活に大変な影響を与えました。この影響を低減し、福島を再生・復興するための「環境再生事業」として、これまで様々な取り組みが行われてきました。そのひとつである放射性物質が付着した土や落ち葉などを取り除く除染作業は福島県内40万件以上の住宅、500km<sup>2</sup>を超える農地などで行われました。この除染によって、例えば住宅地では除染前と除染後を比べると放射線量が平均で60%低くなり、除染後の半年～1年後に行われた除染の効果が維持されているかを確認した調査では除染前に比べて76%低くなったことがわかりました。

他にも震災直後では前年に比べて61.6%にまで減っていた観光客の入込数も、様々なキャンペーンなど観光誘客のための取り組みにより、2019年には98.5%にまで回復しています。



※観光復興キャンペーンや会津を舞台とした大河ドラマの効果などで回復（出典：環境省「福島、その先へ。」より）

## ■これからの福島に向けて

2018年には上記のような環境再生の取り組みだけでなく、脱炭素や資源循環、自然共生といった福島の復興を目指した「福島再生・未来志向プロジェクト」がスタートしています。産業創出、脱炭素まちづくり、自然資源を活用した交流人口の拡大、地域活性化、といった地域の強みを創り出したり、再発見したりするための4つの環境地域政策分野に環境省が支援を行っていて、私たち国環研もさまざまな研究の知見を提供しています。

また福島の未来を見据えた取り組みを広く発信するための試みも行われています。「FUKUSHIMA NEXT」は福島の環境再生・未来への継承のため県内で様々な取り組みがなされているなか、残念ながらそれらがあまり広く知られていない現状に対して、新たな福島を多くの人に知ってもらうための「リブランディング（ブランドの再生・再構築）」を目指す方々を応援する企画で、福島の未来へ向けた取り組みを行っている方のインタビュー記事を掲載、優秀な取り組みには環境大臣賞などの表彰をしています。

「チャレンジ・アワード」は福島の未来を創り出すための新しいアイデアを作品にしてもらい、全国の中学生から大学生といった未来を担う若者から募集、優秀な作品を表彰するという企画。作品は作文やプレゼン資料、アートポスターと様々な形で募集していました。

特設ページではこのような取り組み紹介のほかに、福島や再生事業を学べる動画を公開していたり、中間貯蔵施設などを見学できるツアー情報がまとめられていたり、と今の福島を学べるコンテンツが多く掲載されています。環境に対して福島県内で今どのようなことが行われているか、ぜひこの特設ページで確認してみてください。

## 【参考文献】

- ・環境省「福島、その先へ。」  
<https://kankyosaisei.env.go.jp/next/>
- ・東日本大震災・原子力災害10年の記録「09 観光業の再生」  
<https://fukushima-10years-archives.jp/record/09/>

筆者 ときわ たつひこ  
常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点  
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

## 町史編さん室だより

第111回

## 三島町の民話

### 伝説

49話	美女峠
48話	大蛇の伝説
47話	身代わり観音・平八観音
46話	観音様の御利益
45話	盗まれた観音様
44話	横雲山高野寺を定める時の話
43話	狗ひん様の伝説
42話	志津倉山の狗ひん様
41話	番者坂の名判官
40話	金の清水



### 世間話

62話	諏訪一族と殿様
61話	神様が胡瓜畑で落馬した話
60話	雪隠団子
59話	迷い家に出あった話
58話	弥三郎かが
57話	お大師講
56話	密造酒の話
55話	大人の足跡
54話	吹雪の中の声
53話	辰四郎と狐
52話	泣き布団
51話	とんてんかんととんからりん
50話	狐っ火

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。  
☎(52)2165

令和7年3月に、三島町史の別冊として『三島町の民話』が発刊されました。内容は、民話の語り部である五十嵐七重さん（西方）が町内で語られてきた62話を再話し、各話の解説を行ったものです。すべてのお話で、当町で話されてきた言葉（方言）をできるだけ忠実に書き表し、漢字にも方言の発音に近いルビを振っています。また親しみやすいよう、全話にカラーの挿絵もついており、大人だけでなく、子どもにも楽しく読みやすいようにまとめています。

交流センター山びこにおいて販売しておりますので、ぜひ一度手にとってご覧ください。  
(町史編さん室)

### 昔話

1〜3話	だんごのむかし
4〜5話	うり姫のむかし
6〜7話	五月節句のむかし
8〜9話	地蔵のむかし
10〜11話	二枚のお札のむかし
12〜13話	花さかしさんのむかし
14〜18話	さるのむかし
19話	兄弟二人と山姥
20話	蛇になった娘
21話	舌きりすずめ
22話	豆っこばなし
23話	笑い話(かすのこ)
24話	笑い話(喧嘩仲裁)
25話	小僧さんと坊さん
26話	猫と十二支
27話	曲がり鉄砲
28話	昔話の好きな殿様
29話	猫和尚さま
30話	三人の息子
31話	カシャ猫の昔
32話	小豆洗いの化け物
33話	弘法様とあさづき
34話	親捨て山
35話	サルとカニの話
36話	幡随院長兵衛と樫の木
37話	大男と女の子
38話	みょうがの宿
39話	さとりむかし



町からお知らせ

4月分納税のご案内  
【納期限 4月30日(水)】

- ▼固定資産税(第1期)
  - ▼軽自動車税(第1期)
- 忘れずに納付ください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

ご寄附ありがとうございました  
ふるさと納税(2月分)

- 沢津橋 美代子 様(茨城県)
- 牧野 千鶴 様(会津若松市)
- 長谷川 百合子 様(会津若松市)
- 内藤 伸人 様(神奈川県)
- 勝沼 悠 様(東京都)

寄附件数 19件 計 221,000円

お悔み申し上げます

- 二瓶 信雄 様(92才・名入)
- 飯塚 浩市 様(73才・大石田)
- 秦 サチコ 様(89才・大石田)
- 若林 トシ子 様(98才・滝谷)
- 五十嵐 榮 様(90才・滝谷)

町の人口と世帯(3月1日現在)

人口	1,323	増減数	-3	出生	0
男	674		-2	死亡	2
女	649		-1	転入	0
世帯	671		-2	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

ひまわりサロン	4月21日(月) 午前10時から 町民センター	桧原はつらつクラブ	4月8日(火) 午前10時から 桧原集会所
滝谷和楽塾	4月22日(火) 午前10時から 滝谷集会所	川井友愛サロン	4月14日(月) 午前10時から 川井集会所
西方ほがらかサロン	4月25日(金) 午前10時から 森の校舎カタクリ	大登サロン	4月15日(火) 午後1時30時から 大登生活改善センター
サロンないり	4月28日(月) 午前10時から 名入集会所	サロンなごみ	4月17日(水) 午前10時から 西方ふるさとセンター
高清水・小山 いきいきサロン	4月30日(水) 午前10時から 高清水集会所	間方いきいきクラブ	4月18日(金) 午前10時から 間方集会所

町社会福祉協議会へのご寄附  
(ご遺志によるもの)

- 二瓶 信一 様(名入)
- 飯塚 浩司 様(大石田)
- 秦 和幸 様(大石田)
- 若林 新一 様(滝谷)
- 五十嵐 光広 様(滝谷)

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信で健康教室を放送中です。

4月「肩こり予防運動」です。ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

会津坂下警察署からのお知らせ

オンラインカジノを利用した  
賭博行為は犯罪です!

最近、ニュースで取り上げられているオンラインカジノ。

SNSなどで、オンラインカジノについて「海外で運営しているから罪にならない」「日本にはオンラインカジノを取り締まる法律がない」といった「誤った情報発信」も見受けられますが、オンラインカジノは海外では合法的に運営されているものであったとしても、日本国内からサイトにアクセスして賭博行為を行うことは「賭博罪」や「常習賭博罪」に該当します。

**賭博罪**…賭博をした者は、50万円以下の罰金または科料に処する  
**常習賭博罪**…常習として賭博をした者は、3年以下の懲役に処する

また、直接オンラインカジノを利用した賭博行為をしていなかったとしても、日本国内でオンラインカジノの入金や出金といった決済に関与したり、広告や宣伝で他の人をオンラインカジノに勧誘することは、「賭博助(とぼくぼうじよ)助」(賭博に手を貸すこと)などの罪に問われることがあります。

《グレーゾーンはありません!!》

オンラインカジノに「グレーゾーン」はありません。もし、オンラインカジノに興味を持ったり、友達などに勧められたとしても絶対に賭博行為を行わず、関わらないようにしましょう。



☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

消防署からのお知らせ

山火事に注意しましょう!  
令和7年 全国山火事予防統一標語  
「ふるさとの山を守ろう 火の手から」

空気が乾燥し、  
強風が吹く気象現象が発生します!!

山火事は一旦発生すると、その消火は容易ではなく一瞬にして貴重な森林を焼失するとともにその回復には長い年月と多くの労力を要します。

- ◆山火事や事故を防ぐために、次のことに注意しましょう!
- ・たばこのポイ捨てはせず、決められた場所で喫煙する!
- ・火気を使用せざるを得ない場合は、消火用の水等を必ず用意!
- ・強風時や乾燥時にも、たき火・火入れをしない!

住宅用火災警報器は  
設置してから約10年を経過すると  
電池切れや交換の時期を迎えます!

住宅用火災警報器は  
維持・管理が大切です!



住宅用火災警報器はすべての住宅の寝室と寝室が2階以上にある場合の階段に設置が義務となっています。

**点検をしましょう**

点検方法はひも式とボタン式があり、機種によって異なります。取扱説明書を確認しましょう。

ひもを引くボタンを押す → ボタン式

ひもを引く → ひも式

音が鳴らない場合  
★電池切れかも → 電池の交換、またはセットしなおす。  
★故障かも → 取扱説明書を参照、または本体を交換する。

正常です OK

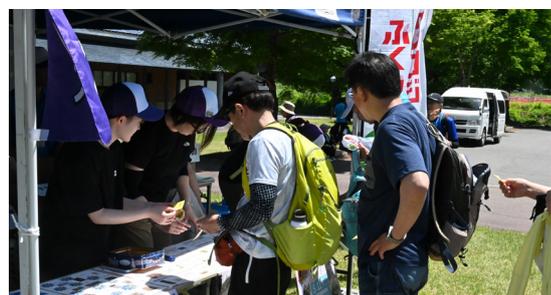
☎会津坂下消防署 三島出張所  
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

# 桐の里 2025 ウォーク

完歩証 記念バッジ がもらえる



お楽しみ抽選会もあります!



## 令和7年5月10日(土) 開催決定 参加者大募集!

- ◆定員 400名 (先着順、定員になり次第締切)
- ◆参加資格 コースを完歩できる健康な方  
※ 小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加料 大人 800円  
子ども(中学生以下) 400円  
未就学児 無料
- ◆申込期限 令和7年4月25日(金) 17:00まで
- ◆申込方法 往復はがき・フォームにて受付  
申込 QR コード
- 【記載事項】参加者全員の氏名、住所、年齢、電話番号、交通手段
- ◆往復はがき申込み先  
〒969-7511 三島町大字宮下字宮下350番地  
三島町教育委員会「桐の里ウォーク」実行委員会  
メール: [kyouiku@town.mishima.fukushima.jp](mailto:kyouiku@town.mishima.fukushima.jp)
- ◆問合せ先 三島町教育委員会 ☎0241(48)5599

【主催】三島町/三島町教育委員会「桐の里ウォーク」実行委員会

【共催】桐の里歩いてみっ会/三島町公民館/三島町体育協会/三島町スポーツ推進委員会

### 町長日記 足下の泉を掘り、安心して暮らせるまちづくりを

No. 104

世界各地で起きている戦争や紛争、環境問題、日本においては激甚化する自然災害への対応や持続可能な社会保険制度、都市と地方の格差問題など、時代における様々な不確実性の中で、世界や日本の将来に明るい展望が持てず、多くの方が不安を感じていると思います。日本の出生数は70万人から80万人で推移されると予想され、現在の最大の課題は少子高齢化を伴う人口減少対策やジェンダー問題であり、報道はもとより全国知事会の議論でも多くの首長が述べているのはご承知のとおりです。

一方、大手新聞社等では環境問題や経済格差問題、都市と農山村の格差教育を含めた人材育成の課題等を取り上げているものの、国において本質的な議論がなされているのか疑問に感じています。

「高度経済成長政策」は、一つの国や国家間の価値において強みに押し進めてきた時代背景があり、政策により富が都市部に集積し、農山村地域はその富の分配を受けつつ、特に過疎地域においては生きながらえてきたような気がしています。しかし、この政策では

一つの豊かさや価値を享受できた一方で、今の時代に適合した価値ではないと考えており、再び経済成長という価値を持たせようにするところに無理があるように考えています。その例が、ローカルからグローバルという経済の価値を創ろうとしたアメリカや中国等の現在の状況を見ると結果が明らかとなり、希少金属などの天然資源を巡り争っている現実を見ると、今も将来も見逃せない現実が見て取れます。

20年前から三島町にも何度か訪れていた、群馬県上野村に住む哲学者の内山節氏の著書「森にかよう道」や「里という思想」を読んでいただくや「理解が深まります。氏の考えを簡潔に申しますと、自分の足下の泉を掘る」と述べておられます。

不確実性の高い時代においても価値のあるものは自分の身近なところにある、文化の継承や地域資源の利活用、持続可能なコミュニティの構築などをもとに、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを進めて参ります。

三島町長 矢澤 源成